

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	人類史 I (2E)
科目基礎情報					
科目番号	0020		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教科 (人文科学系)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 「新詳 世界史B」 帝国書院、「日本史B 新訂版」 清水書院 / 補助教科書: 「グローバルワイド 最新世界史図表」 第一学習社、「最新日本史図表」 第一学習社				
担当教員	長井 栄二, 米澤 晋彦, 三浦 義則				
到達目標					
1. 古代地中海世界の概要がわかる。 2. 東アジア世界の歴史と日本の古代史の概要がわかる。 3. 中世のヨーロッパ世界とイスラーム世界の概要がわかる。 4. ユーラシアの歴史と日本の中世史の概要がわかる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	古代地中海世界の特徴を、具体的に説明できる。	古代地中海世界の概要を説明できる。	古代地中海世界の概要を説明できない。		
評価項目2	東アジア世界の歴史と日本の古代史の関係を、具体的に説明できる。	東アジア世界の歴史と日本の古代史の概要を説明できる。	東アジア世界の歴史と日本の古代史の概要を説明できない。		
評価項目3	中世のヨーロッパ世界とイスラーム世界の関係を、具体的に説明できる。	中世のヨーロッパ世界とイスラーム世界の概要を説明できる。	中世のヨーロッパ世界とイスラーム世界の概要を説明できない。		
評価項目4	ユーラシアの歴史と日本の中世史の関係を、具体的に説明できる。	ユーラシアの歴史と日本の中世史の概要を説明できる。	ユーラシアの歴史と日本の中世史の概要を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係					
(A)人類の幸福 A-1					
教育方法等					
概要	世界の諸地域の成立史について、また特に東アジア世界の歴史と日本の古代・中世史とを関連づけて学ぶことによって、現代の国際社会の中で諸地域の文化を理解するために必要な基礎能力を身に付ける。				
授業の進め方・方法	授業形式。授業中には板書を書き写すだけでなく、口頭説明のメモをとること。必要に応じて適宜、小テストないしレポート課題を実施する。試験結果が合格点に達しない場合、再試験を行うことがある。				
注意点	合格点は50点である。前期・後期の成績は、それぞれの中・期末の試験結果を70%、小テストないしレポートを15%、授業態度を15%で評価する。学年総合成績 = (前期成績 + 後期成績) / 2。 授業を受ける前: 日常的にテレビや新聞などのメディアで、日々のニュースに触れておくこと。 授業を受けた後: 授業中に出てきた分からない漢字や語句、地名を、指示されなくとも自らすすんで、辞書や地図で調べて確認しておくこと。この実直な作業は、後に本当の実力として大いに身になるものである。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業のガイダンス	授業の進め方と評価の仕方について説明する。	
		2週	オリエント文明	文明の出現について学ぶ。	
		3週	古代ギリシア	古代ギリシア政治について学ぶ。	
		4週	古代ローマ	古代ローマ社会とキリスト教について学ぶ。	
		5週	インダス文明と南アジア世界	古代インド社会と仏教について学ぶ。	
		6週	中国文明①	古代中国社会について学ぶ。	
		7週	到達度試験 (前期中間)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答	
	2ndQ	9週	中国文明②	儒教と秦帝国の成立について学ぶ。	
		10週	中央ユーラシア世界	中央ユーラシア社会の特徴について学ぶ。	
		11週	縄文・弥生文化	先史時代の日本について学ぶ。	
		12週	中華帝国	漢帝国の成立について学ぶ。	
		13週	東アジア世界の成立	東アジアの冊封体制について学ぶ。	
		14週	東アジア世界の再編	隋唐帝国の成立について学ぶ。	
		15週	到達度試験 (前期末)	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。	
		16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート	
後期	3rdQ	1週	律令国家「日本」の樹立	日本の律令体制の成立について学ぶ。	
		2週	ヨーロッパ世界の成立	ヨーロッパ世界の成立について学ぶ。	
		3週	西ヨーロッパの中世社会	西ヨーロッパ中世社会の特徴について学ぶ。	
		4週	イスラーム世界の成立	イスラームの成立と広がりについて学ぶ。	
		5週	イスラームの社会	イスラーム社会の特徴について学ぶ。	
		6週	西ヨーロッパ社会の変容	イスラーム社会の特徴について学ぶ。	

4thQ	7週	到達度試験（後中間）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	8週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答
	9週	中華の権威の揺らぎ	中華秩序の動揺について学ぶ。
	10週	「辺境」における幕府の成立	日本の中世社会の成立について学ぶ。
	11週	ユーラシアの一体化と危機	ユーラシア大交流圏の出現と東西の危機について学ぶ。
	12週	海洋アジア交易圏の繁栄	明帝国の成立と冊封体制の再編について学ぶ。
	13週	ユーラシアの大帝国群	ユーラシア諸帝国の成立について学ぶ。
	14週	室町時代の社会	日本の中世社会の動揺について学ぶ。
	15週	到達度試験（後期末）	上記項目について学習した内容の理解度を授業の中で確認する。
	16週	試験の解説と解答	到達度試験の解説と解答、および授業アンケート

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	到達度試験	小テストないしレポート	授業態度	合計
総合評価割合	70	15	15	100
基礎的能力	70	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0